



幸せ日本一の達成率は

町長 8割程度と実感、今後も努力したい

宮澤 清士 議員

2期目への意気込みは

質問 町長は、町民の皆さんとの「120の約束」をまちづくりの基本概念及び政策の柱として掲げている。町政を担い、四年が経過しようとしているが、これらの項目の達成割合と安齋町政から継続したものは何項目あるのか。また、「幸せ日本一」はどの程度達成したのか。

町長 私が平成27年の5月に町長に就任して以降、「幸せ日本一のまち」を目指し、政策の柱となる「経済の循環」、「資源の循環」、「暮らしの循環」、「情報の循環」、「人材の循環」の5つの概念の施策が長期にわたって繰り返し反映されるよう、「社会循環」を礎に、本町の活性化等のため「120の約束」を掲げ、町政を担ってきた。「120の約束」全体においては、概ね90%弱の達成

度となっている。

安齋町政から継続している施策等については、約7割であり、今後の住民ニーズを的確に把握し、新規施策の追加や継続事業の拡充を行いながら取り組んでいる。また、「幸せ日本一のまち」の達成率は、実感としては、8割程度かと感じている。

まだまだ十分なものではないと認識しているので、今後も町民の皆さんや議員各位のご意見をいただきながら、「幸せ日本一のまち」の実現に向けて努力したい。

再質問

町の産業は一次産業であり、その産業が衰退すれば人もいなくなると思う。やはり産業のあるところに人の循環が見込まれると思うので今後とも一次産業の発展に向けて尽力し、公約についても今後とも努力していただきたい。

また、来春は統一選挙の時期だが、今後の町政発展

に向け、次期に挑戦する意気込みがあれば聞かせてほしい。

町長

今回提案した総合計画の中に、7つの下川町のありたい姿を掲げたが、一つ目に「挑戦しつづけるまち」というものを掲げている。そういう意思を持っている。私がテーマにしている「幸せ日本一のまち」を作るために、きめ細かな政策公約を打ち出して行きたいと考えている。

福祉施策においては、結婚、出産、子育てにおけるセーフティネットの構築を図り、さらには高齢者が健康で生きがいを持てる生活環境を創造していきたい。

医療施策においては、町立下川病院の経営は大きな課題だが、医師、看護師の確保を積極的に行い安定した病院経営ができる体制づくりを図っていきたい。

地域政策においては、自

然災害等が多発している状況から、自治防災組織を含めた多機能な自治組織の確立を図りたいと考えている。

2期目へ向けての決意と覚悟の中、今後は後援会や町民の皆さんと議論を重ねて、確固たる選挙公約を創造して行きたいと考えている。

再質問

この3年数か月振り返って、前町政と今の谷町長の違いは何か考えていた。足りなかったのは本気度だと思う。

今年の漢字が、「災」という字になったが、個人的に谷町政の今期を例えると、混迷の「迷」、迷いだと思う。本気度が足りないと感じた。2期目の町政を担う時は、今まで以上に本気度を示してほしい。

町長

大きな激励と確信している。足りない部分をしっかりと認識し、2期目に向け準備を進めていきたい。